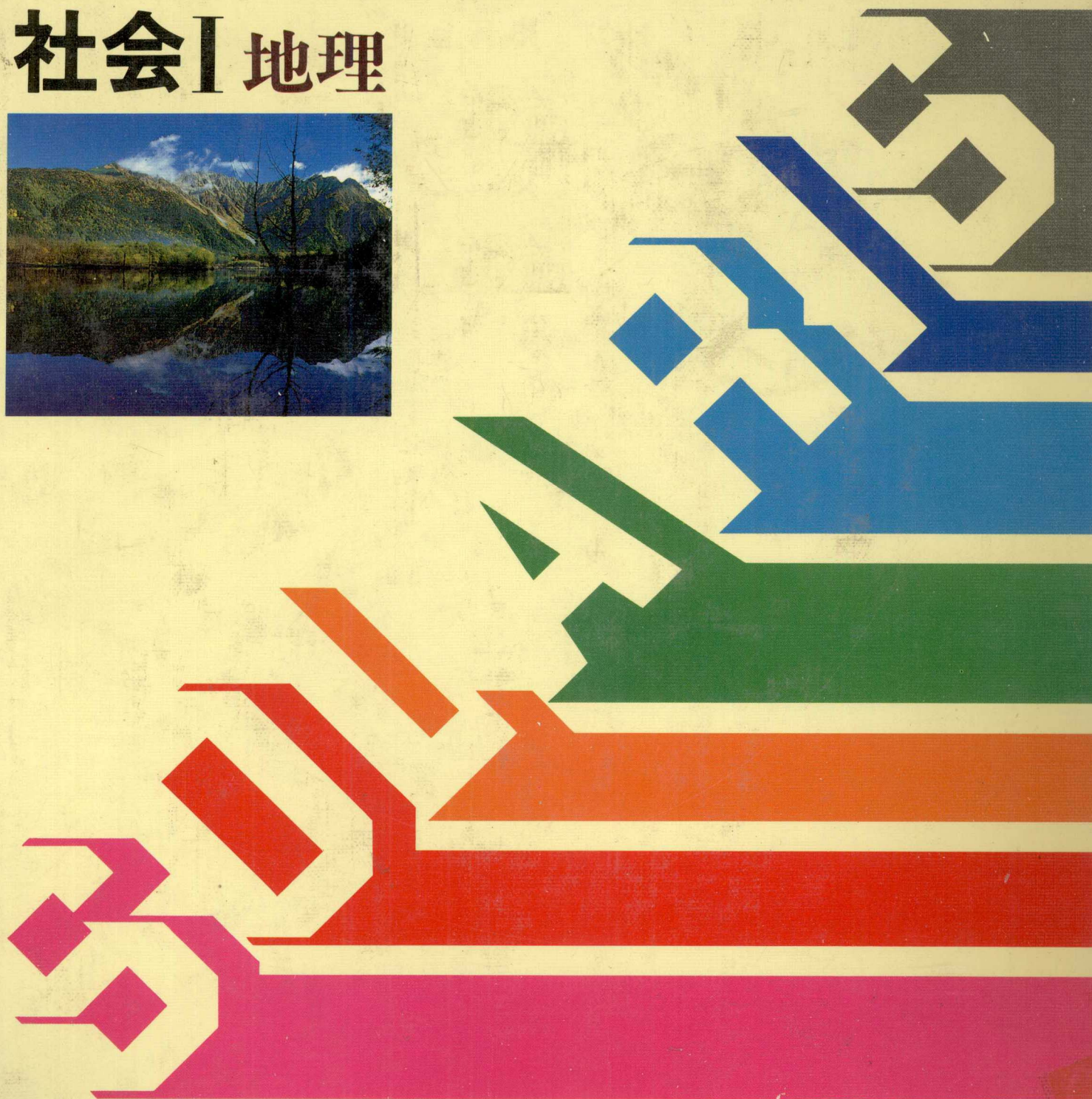
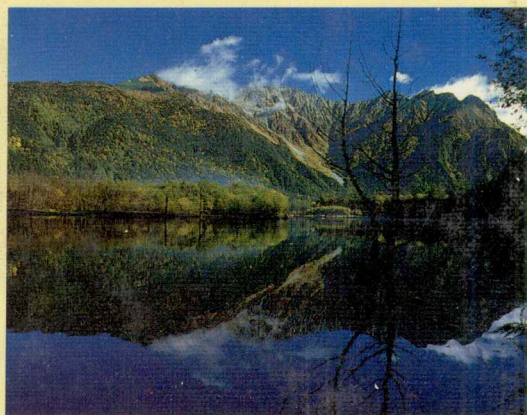


標準 學習活用事典

社会I 地理



標準 学 習 活 用 事 典
第 3 卷 社会 I

昭和58年9月6日

初版発行

編集責任者 白 木 靖 美
発行人 鈴 木 泰 二
発行所 株式会社 学習研究社
東京都大田区上池台4-40-5
〒145 振替東京 8-142930
印刷・製本 凸版印刷株式会社
用紙 三菱製紙株式会社
表紙クロス ダイニック株式会社

この本に関するすべてのお問い合わせは、
文書は、東京都大田区上池台4-40-5(〒145)
学研ユーザーサービス部
「標準 学習活用事典」係へ
電話は、東京(03)720-1111(大代表)へ
お願いいたします。

©GAKKEN 1983年
(本書内容の無断転載複写を禁ず)

132033
ISBN4-05-100649-2
セット定価 32000円
Printed in Japan

標準 學習活用事典

3 社会Ⅰ 地理



はしがき

六月終わりのころのある日、テレビのニュースで、寒冷な気候がつづいて収穫がややぶまれる北海道の農村と、海水浴の人たちでごったがえす沖縄のようすとが同時に放映されて、日本じゅうの茶の間をおどろかせた。国土がそれほど大きくない日本でも、自然や人々の生活のしかたは、ところによってずいぶんちがいがあることがわかった。まして、地球という巨大な舞台に住む外国の人たちの生活ともなれば、そのちがいはさらに大きく、またさまざまである。

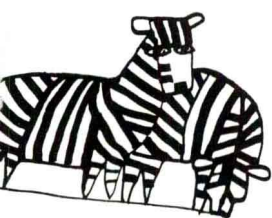
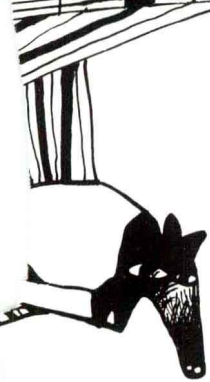
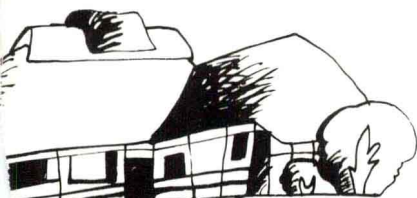
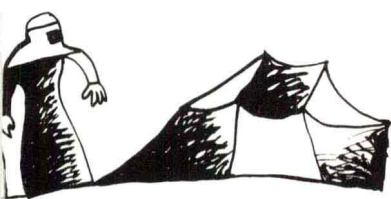
それは、それぞれの土地の自然のなりたちちがいにちよるが、住民の長い間の習慣によって、自然の利用や開発の仕方によって、ちがいがあつたためである。人間はどこに住んでいても、ゆたかな生活をめざして、たゆまざる努力をしていることにはかわりないが、人々の長年にわたる生活の工夫や努力のあらわれ方は、土地によっていろいろである。

地理の勉強は、このような世界各地のさまざまな生活を観察して、そのありのままのようすを知ることからはじまる。しかし、それだけでは、地域ごとに展開されていることがらをただ知識と

して記憶しているだけであるから、本当の地理の勉強とはいえない。私たちは、もう一歩学習の目をひろげ、観察したことがら、なぜその土地でなりたっているのか、その条件などにもふみこんで、見方や考え方を深めていくことがたいせつである。

このような学習を進めると、私たちは、日本や世界の各地について、その特色や問題点を正しく理解することができ、それをとおして、自分の住んでいる地域や日本の現状と課題を発見することもできる。広い視野にたつて足もとをみつめ、身近な地域や日本のはたす役割を考えていくことが、あとわずかでむかえる二一世紀をになう私たちの生き方をさぐる、たいせつな糸口となるのである。

この事典は、これまでのべてきたような地理の学習ができるように気を配つてつくつてある。これからこの事典を使って、日本と世界について、たがいによその土地とくらべて地域の特色をみつける、それぞれの地域と他の地域とのむすびつきに目を向ける、絶え間なく動いている地域の変化のようすをとらえる、という見方で、地理の学習を進めてみよう。





この巻をつくった人たち

(五十音順に配列)

原稿を書いた人たち

中国 研究家
青木 千枝子

立正 大学 教授
新井 正

京都 大学 教授
浮田 典良

東京都大田区立大森
第七中学校教諭
小此木 房雄

筑波 大学 教授
榎根 勇

静岡英和女学院教授
北川 光雄

東京都立工業高等専門
学校 教諭
剣木 元文

桐朋女子高等学校教諭
小池 暉一

岩手 大学 教授
駒井 健

東京学芸大学教授
斎藤 毅

筑波大学付属中学校
教諭
波沢 文隆

アジア経済研究所
島田 周平

東京都立九段高等学校
教諭
高橋 睦人

兵庫教育大学助教授
藤井 宏志

立教大学名誉教授
別技 篤彦

北海道教育大学教授
古川 史朗

大阪市立住吉第一中
学校 校長
安井 司

装丁／吉田 誠

AD／桑原盛行・照井重郎・学研AD室

この事典の使い方

■やくそく

この巻は、小学三・四・五年および中学で学ぶ「日本地理」と、小学六年や中学で学ぶ「世界地理」の二分野からなりたっています。さらに学習に便利なように、日本と世界の重要な地名をまとめた「地名事典」もついています。「日本地理」と「世界地理」は、地方別にわけて、くわしく解説してあります。一方、地名事典は、五〇音順になっています。

■教科書クイズ

このクイズはテストとちがって、教科書にでてくることから、すこし発展した内容のものをえらんで、楽しめるように工夫してあります。クイズをいたら、さらに本文にアタックしましょう。

■写真・図版・統計

本文の解説をおぎない助けるために、写真や図版などをふんだんにとりいれました。各地の人々の生活のようすや、産業のありさ

まを理解するために、資料として注意深くみてください。なお、統計資料は、日本政府や国連機関などが発表した最新の数値がとりにてあります。

■チャレンジテスト

チャレンジテストは、小学校の四年から中学校の三年までの範囲で出題してあります。問題は、その学年で勉強することの中から、基本的なものにしばってあります。学校のテストの前には、かならずチャレンジしましょう。

■地名事典

小・中学校の教科書にのっている重要な地名をとりあげ、くわしく解説してあります。みなさんが使いやすいように、この事典のいちばんさいごにまとめてありますから、うしろの表紙をめくって、しらべたい地名をさがしてください。

写真・資料提供

市川光雄 井上宗和 岩合徳光 NNP 恵
谷治 大和田健二 小川忠博 オリエンタル
ランド 片平孝 教育社 国文学研究資料館
小谷明 島内英佑 明治神宮聖徳絵画館 水
産航空 世界文化フォト 関野吉晴 WPS
凸版印刷 名和一憲 日産自動車 日本電気
ノーボスチ通信社 PANA 琵琶湖研究所

藤森秀郎 ボンカラー・フォト 松田義昭
三科博 三菱電機 森田勇造 吉田隆志 吉
田ルイ子 渡部まなぶ 学研企画資料部 学
研写真部

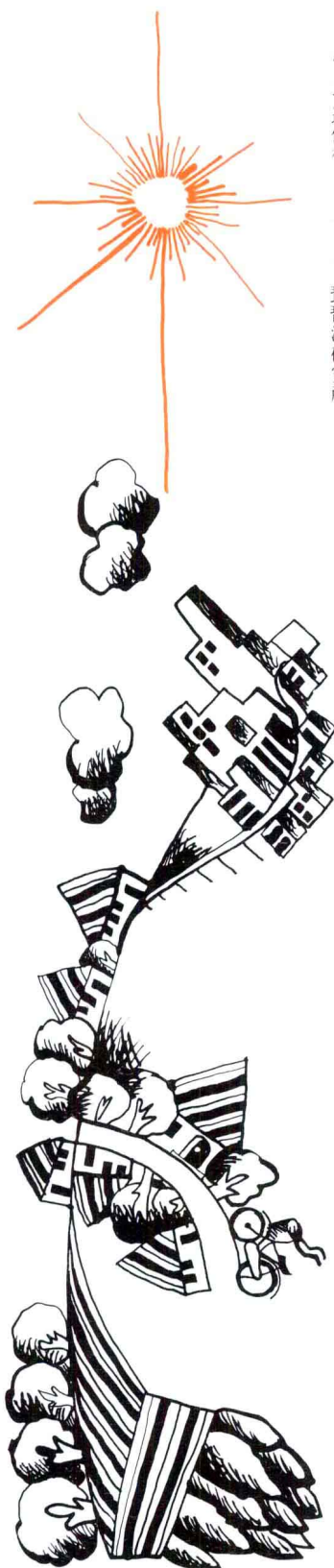
図版作成

近藤正昭 つがる団平企画室 津田久美子
日本クリエイイト ユニオンフラン
玉木図版社

この巻に掲載してある地形図は、国土地理院
発行の二万五〇〇〇分の一地形図、五万分の
一地形図を使用したものである。

編集

総括 杉山茂生
佐々木琢磨
包原伸宏
A D 降幡和利
編集管理 白石雄一
編集協力 冬陽社



もくじ

第3巻

社会 I

地理



日本地理

日本の国土と身近な地域

日本の国土 20

国土のなりたちと領域 20

国土の地形 22

気候の特色 24

自然の災害 26

国土の開発と保全 28

国土と人口 30

身近な地域と地図 32

地図の話 32

地域のしらべ方と身近な地域のくらし 34

地域のしらべ方 34

農村のくらし 36

山村のくらし 37

漁村のくらし 37

都市のくらし 38

日本の地域区分 40

地域を区分する意味 40

日本のいろいろな地域 40



九州と中国・四国地方

九州地方

九州地方のあらまし

42

北九州工業地帯

44

筑紫平野の農業と有明海の干拓

46

シラス台地の開発と農業

48

中・南九州の工業都市

50

離島のくらし

52

沖縄の伝統文化と亜熱帯観光地の発展

54

中国・四国地方

中国・四国地方のあらまし

56

近畿・中部・関東地方

近畿地方

近畿地方のあらまし

72

西日本の中心都市大阪

74

近郊農業のうつりかわり

76

瀬戸内工業地域

58

瀬戸内の農業

60

さかんな瀬戸内の養殖漁業

62

南四国の園芸農業

64

牧畜の中国山地と林業の四国山地

66

牧畜の中国山地

66

林業の四国山地

66

砂丘と中海の開発

68

黒潮にいでむ漁業

70

古都奈良と京都のたたずまい

78

海と陸にのびる阪神工業地帯

80

琵琶湖と淀川

82

吉野と熊野

84

中部地方

中部地方のあらまし

名古屋市中京圏

中京工業地帯と東海工業地帯

中京工業地帯

東海工業地帯

東海道メカトロポリスと太平洋ベルト

茶とミカン

日本一の茶

静岡県の二つめの顔ミカン

濃尾平野の農業と輪中

濃尾平野の農業

水に苦しめられた輪中

東海の漁業

中央高地の産業

86

86

88

90

90

90

92

94

94

95

96

96

96

98

100

東北・北海道地方

東北地方

東北地方のあらまし

124 124

日本の電源地帯

北陸の米作と工業

北陸の米作

北陸工業地帯

雪国のくらし

関東地方のあらまし

巨大都市東京

政治・経済・文化の中心地

首都圏の整備と開発

京浜工業地帯

関東の農業

新しい工業地域 京葉と鹿島

内陸部に立ちならぶ工業団地

衰退する鉱業

102

104

104

104

105

106

108

108

110

110

112

114

116

118

120

122

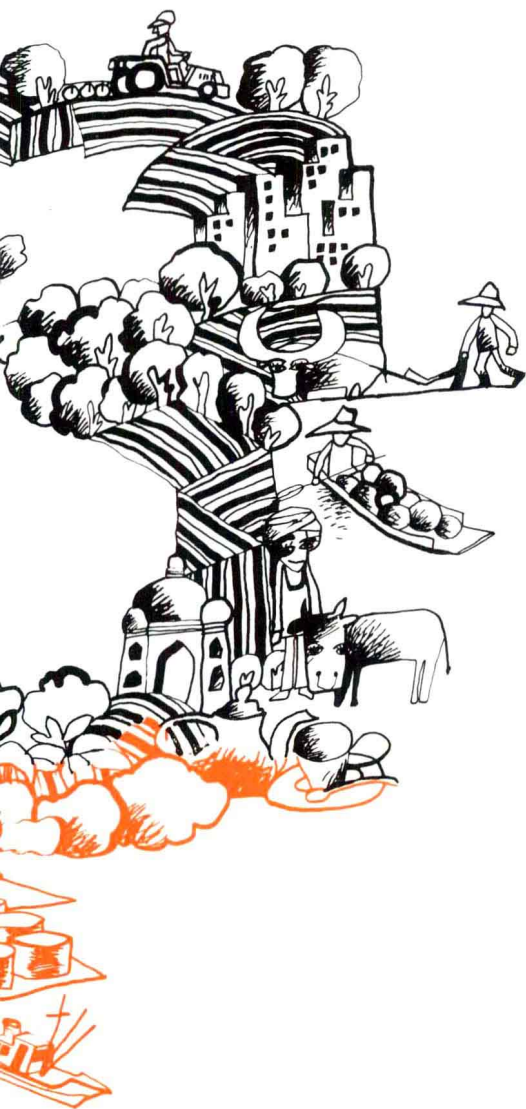
123

米作中心の農業

津軽のリング

126 128





世界地理

北海道地方

三陸の漁業	130
在来工業と近代工業	132
かわりゆく東北地方	134
北海道地方のあらまし	136
北日本最大の都市札幌	138
石狩平野の米作	140
大規模な畑作と酪農	142

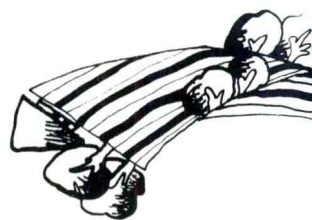
十勝平野の畑作	142
日本一の酪農地帯	143
天然林中心の林業とうつりかわる漁業	144
ゆたかな森林資源	144
全国一の水産物供給地	144
条件のわるい炭田と工業	146
おとろえる石炭鉱業	146
軽工業中心の工業	146

地球と人類

地球と人類

宇宙船「地球号」	150
地球と世界地図	152

四五億をこえる人口と食料問題	154
さまざまな人種と文化	156
世界の人種と民族	156



世界の宗教	157
世界のことば	157
世界の地形とくらし	158

アジアとアフリカ

アジアの地図	164
アフリカの地図	166

東アジア

東アジアのあらまし	168
二つの朝鮮	170
南北にわけられた朝鮮	170
産業と社会	171
近代化を進める中国	172

東南アジアと南アジア

広大な国土に住む一〇億の民	172
古い歴史と新しい国づくり	172
一〇億の人口をささえる農業	174
鉱工業の発達	174
東南アジアと南アジア	176
東南アジアと南アジアのあらまし	176



世界の気候とくらし	160
世界の地域区分	162

東南アジアの米作	178
----------	-----

東南アジアの資源と開発	180
-------------	-----

ゆたかな資源	180
--------	-----

工業化をめざして	181
----------	-----

南アジアの産業	182
---------	-----

食料不足になやむ農業国	182
-------------	-----

インドの鉱工業	182
---------	-----

複雑なインドの社会	184
-----------	-----

西アジアとアフリカ

西アジアとアフリカのあらまし	186
アラブ・イスラム世界	188
オアシス農業と遊牧	190
水をえるための努力	190
草をもとめて移動する遊牧	190

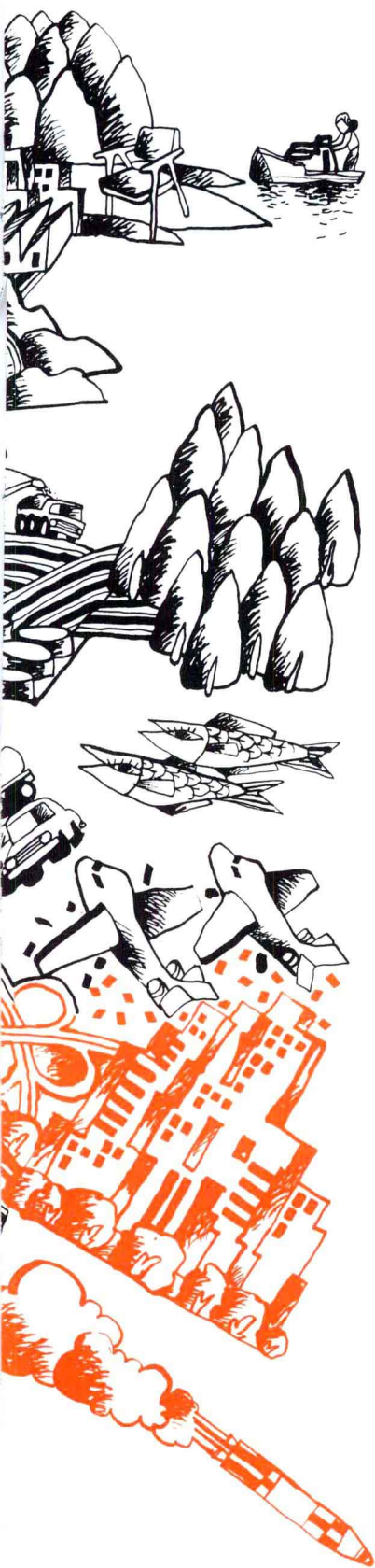
世界最大の石油生産地帯	192
多くの黒人国家	194

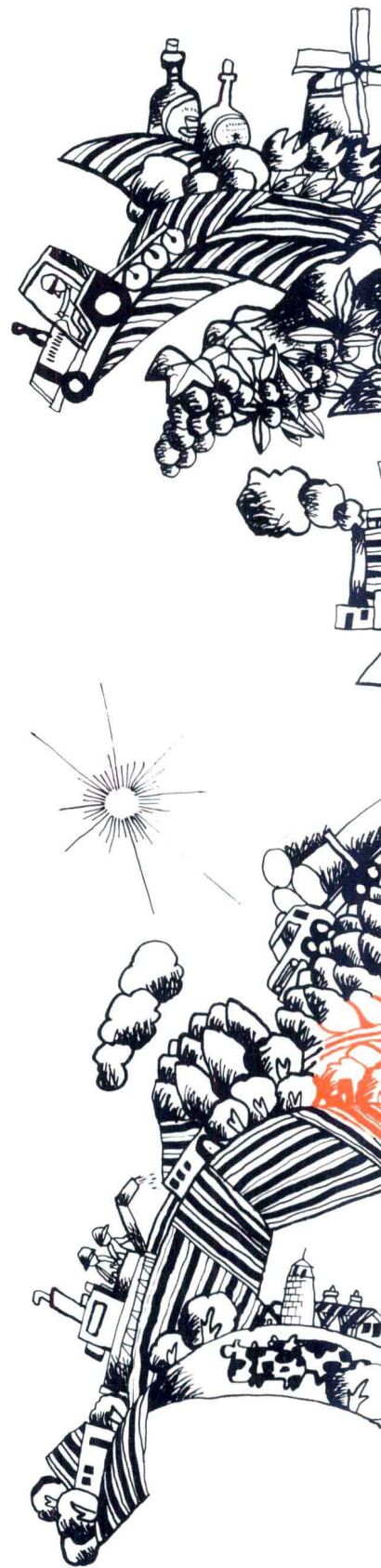
ヨーロッパ

ヨーロッパの地図	198
西ヨーロッパ	200
西ヨーロッパのあらまし	200
むすびつくヨーロッパ	202
EC加盟にふみきったイギリス	204
イギリス連邦からECへ	204
産業と経済の再建	204
古い文化の国フランス	206
誇り高いフランス人	206
西ヨーロッパの穀倉	206
工業大国西ドイツ	208
西ドイツの経済発展	208
ルール地方	208
陽光あふれる地中海沿岸	210
ヨーロッパ文化発祥の地	210

熱帯雨林とサバナの世界	196
-------------	-----

ゆたかな太陽	210
工業化をめざして	210
アルプスの国々	212
白夜の北ヨーロッパ	213
ソ連と東ヨーロッパ	214
ソ連と東ヨーロッパのあらまし	214
多民族国家ソ連	216
広い国土	216
多様な民族と生活	216
ソ連の産業	218
計画経済の国	218
工業の発展	218
農業地域の拡大	218
独自の道をいく東ヨーロッパ諸国	220
八つの社会主義国	220





コメコンの活動.....221

独自の道をいく国々.....222

アングロアメリカとラテンアメリカ

北アメリカの地図.....224

南アメリカの地図.....226

アングロアメリカ.....228

アングロアメリカのあらまし.....228

アメリカ合衆国の大規模農業.....230

世界最大の鉱工業国アメリカ.....232

アメリカ合衆国のかかえる課題.....234

ゆたかな資源国カナダ.....236

広大な北の国.....236

めぐまれた資源と産業.....237

ラテンアメリカ.....238

ラテンアメリカのあらまし.....238

近代化をめざすメキシコ.....240

高原の国.....240

進む工業化.....240

ゆれ動くカリブ海の国々.....242

西インド諸島の国々.....242

地峡の国々.....242

経済発展の進むブラジル.....244

農牧業のさかんなアルゼンチン.....245

鉱産資源のゆたかなアンデス諸国.....246

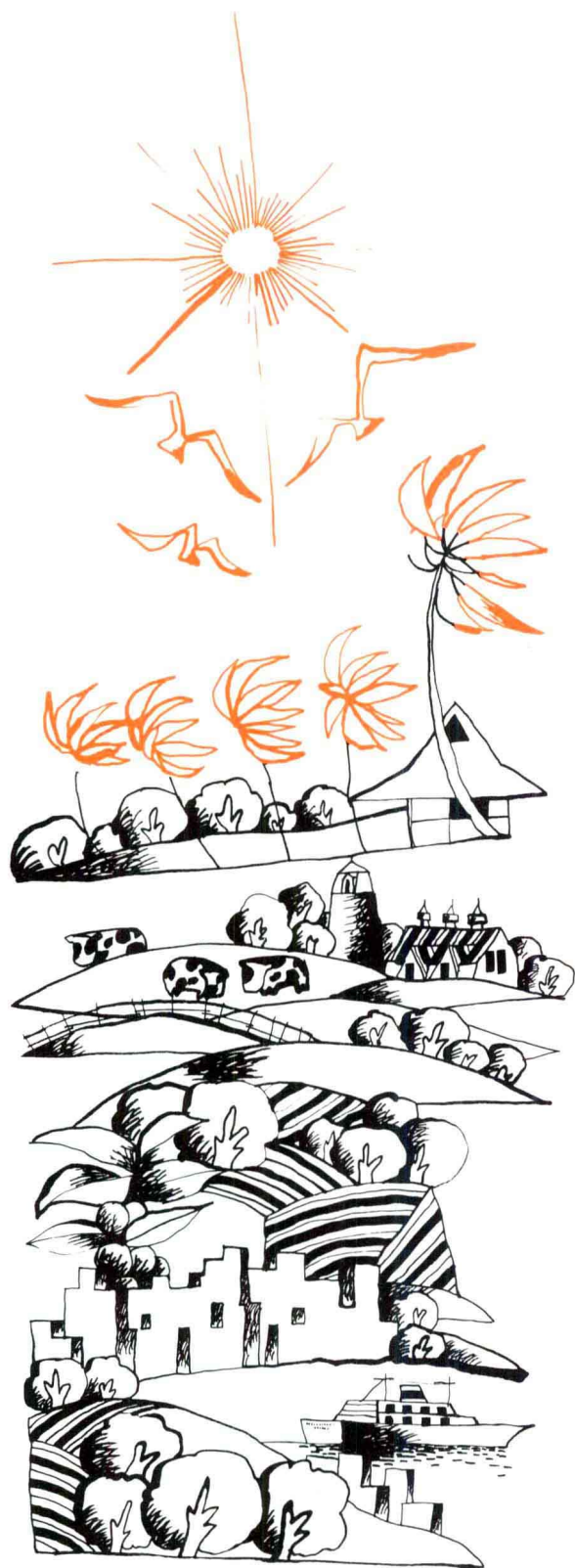
オセアニアと極地

オセアニアの地図.....248

オセアニアと極地.....250

オセアニアと極地のあらまし.....250

資源開発が進むオーストラリア.....252



教科書クイズ	13
資料コーナー	265
チャレンジテスト	273
さくいん	280

資源と産業	252
先住民と白人社会	253
ニュージーランドと太平洋の島々	254
牧畜の国ニュージーランド	254
太平洋の島々	255
北極と南極	256

あ	439
か	410
さ	385
た	367
な	346
は	336
ま	313
や	302
ら	296
わ	290

地名事典

教科書クイズ

問題 1 日本一クイズ

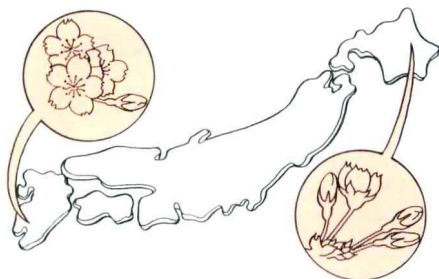
- ① 日本でいちばん大きい島は、なんという島でしょうか。 答 ()
- ② 日本でいちばん大きな湖は、なんという湖でしょうか。 答 ()
- ③ 日本でいちばん長い川は、なんという川でしょうか。 答 ()
- ④ 日本でいちばん長いトンネルは、なんというトンネルでしょうか。 答 ()
- ⑤ 日本でいちばん長い道路橋は、なんという道路橋でしょうか。 答 ()



問題 2 サクラの花のさくころ

日本列島は南北に長いので、サクラの花がさく時期はずいぶんちがいます。さて、九州の南のはしと北海道の北東部とは、サクラがさく時期にどれくらい差があるでしょうか。次の () の中から選びなさい。答 ()

- a 一週間の差 b 一か月の差
c 二か月の差



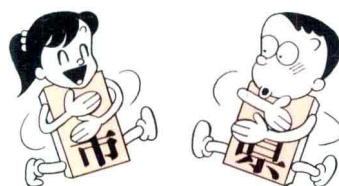
問題 3 県名と県庁所在地

県名と、県庁がある都市は、同じ名前のことが多いのですが、

中には別々の名前の県があります。さて、次の県の県庁がある都市の名前をうしろの語群から選んで () に記号を記入しなさい。

- ① 沖縄県 () ② 埼玉県 ()
③ 兵庫県 () ④ 香川県 ()
⑤ 栃木県 () ⑥ 群馬県 ()

- a 浦和市 b 那覇市 c 前橋市
d 神戸市 e 高松市 f 宇都宮市



問題 4 鹿児島市と桜島

8月のある暑い日、鹿児島市のおともだちの家をたずねました。そこから桜島がみえます。おともだちの家は、クーラーがないのになんと窓を全部しめきっています。私が窓をあけてあげようとしたら、「やめろ!」としかられました。さて、なぜ、しかったのでしょうか。



- ① 鹿児島市の人は、暑さにがまん強いから。
② 桜島が噴火しており、灰が家の中にはいつてくるから。
③ 桜島がすごくくさいから。

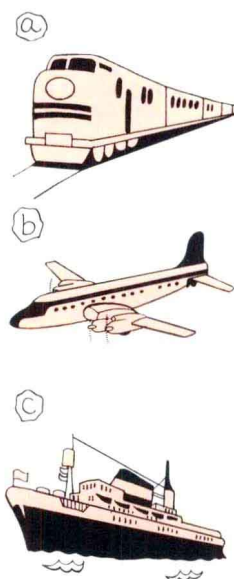
答 ()

問題 5 本州と四国を結ぶ交通

本州と四国の間に、橋をかける工事が進められています。でも、まだできあがっていません。現在、本州と四国をわたる人たちが

利用する交通機関の中で、もっとも多いものは何だと思いますか。
次の絵の中から選びなさい。

答（ ）



問題6 秋田県A町の成人式

秋田県南東部の純農村地帯にあるA町は、出かせぎの多い町です。この町では、若者たちの成人式を成人の日（一月一五日）にやらないで、八月一五日にやるのです。なぜ、ま夏に成人式をやるのでしょうか。

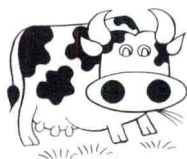


- ①江戸時代から、ずっと、ま夏にやってきたから。
- ②一月一五日では、雪が多く、晴れ着がよごれるから。
- ③若者たちが、町を出て、八月のお盆のころしか町にもどってこないから。

答（ ）

問題7 北海道の酪農

北海道にいくと、広い原野で乳牛がのんびりと草をたべているのに出会います。北海道にはとびぬけてたくさん乳牛がいるのです。冬が長くて、寒い気候の北海道に、どうしてこんなに乳牛がいるのでしょうか。寒がたりしないのでしょうか。



- ①乳牛は、皮があついで、寒がらない。
- ②乳牛はすずしい土地にむいており、気候の上では、北海

道はびったりだから。

③しばらくだしたミルクが寒いくさらないから。

答（ ）

問題8 世界一クイズ

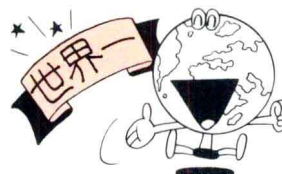
- ①世界でいちばん大きい島は、なんという島でしょう。
- ②世界でいちばん大きい湖は、なんという湖でしょう。
- ③世界でいちばん長い川は、なんという川でしょう。
- ④世界でいちばん面積の広い国は、なんという国でしょう。
- ⑤世界でいちばん高い山は、なんという山でしょう。

答（ ）

答（ ）

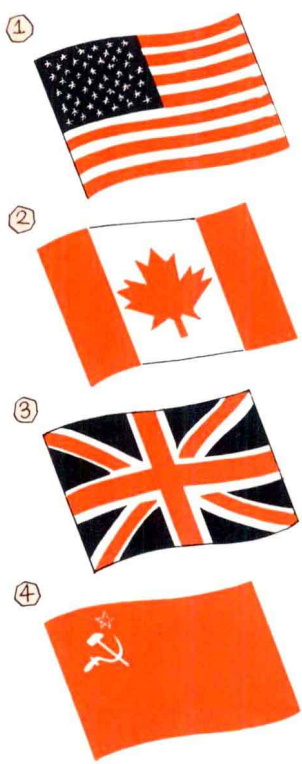
答（ ）

答（ ）



問題9 国旗クイズ

次の①～④の国旗は、どの国のものでしょうか。ヒントをよんで、（ ）の中に答えをかきなさい。



〔ヒント〕

- ①赤と白の線は、独立したときの13州をあらわし、星の数は現在の州の数（50州）をあらわしている。スターズアンドストライプスといわれる。

答（ ）

- ②中心にある葉は、カエデで、この国のシンボル。両はしの赤は

太平洋と大西洋をあらわす。

答（ ）

③ ユニオンジャックといわれ、かつて七つの海を支配した国の旗である。旧植民地の国々が自分の国の旗の一部に、これを入れている。

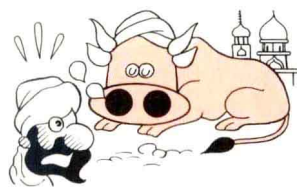
答（ ）

④ 社会主義国の旗で、かま・つちと星がみられる。かまは農民、つちは労働者のシンボル。星は労働階級団結の象徴である。

答（ ）

■問題10 インドの牛

インドでは、大都会のまん中を、牛がのんびりと歩いています。どうかすると、道路のまん中でねころんだりします。そのため交通が止まり、人間はめいわくをこうむりますが、だれも牛をなぐって、どけさせたりしないのです。さて、なぜでしょうか。



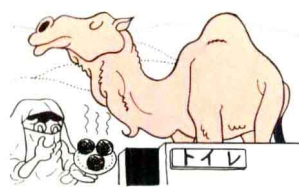
答（ ）

- ① 牛肉をたべるために、だいちにしているから。
- ② ヒンズー教の教えにより、牛は神聖な動物だから。
- ③ インドの牛は気があらく、とても危険だから。

答（ ）

■問題11 遊牧民のラクダ

アラビア半島に住む遊牧民は、砂漠でラクダを飼っています。ラクダはたいせつな家畜で、乳をしぼって、乳製品をつくります。遊牧民の一人が、「ラクダのふんは、宝物だ」といいました。さて、なぜでしょう。次の文から正しい答えを選びなさい。



- ① ラクダのふんは、ピカピカ光って美しい。
- ② 燃料の少ない砂漠では、ラクダのふんをもやして煮たき

する。

③ ラクダのふんにおいては、高級なかおりである。

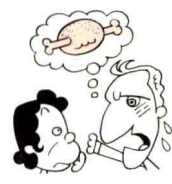
答（ ）

■問題12 イスラム教と肉

アラビアから日本に勉強しに来たある留学生が、下宿のおばさんに、食べもののことで注文をつけました。「牛肉は大好きだけど、ある動物の肉はぜったいに食べものの中に入れないでくれ」といいました。イスラム教のおきてで、食べてはいけないのだそうです。さて、その動物とは、いったいなんでしょう。

- ① 羊
- ② ラクダ
- ③ ブタ

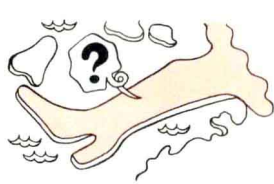
答（ ）



■問題13 ヨーロッパの国

地図をみると、ヨーロッパ南部のある国は、国土がまるで長ぐつのような形をしています。そこで、長ぐつ半島の国というあだ名があります。この国は、ずっとむかしから文化がさかえ、いまでも遺跡がたくさんあります。さて、何という国でしょうか。

答（ ）



■問題14 オランダの風車

オランダを旅行すると、大きい風車がたくさんみられます。今はすっかり観光用として有名になっていますが、むかしは、とてもたいせつな道具でした。

では、風車は、何のための道具だったのでしょうか。次の答えの中から正しいものを選びなさい。

- ① 大きい風車で、害をあたえる鳥を追いはらった。

